



消費者



生産者



環境に「Good」な取り組み

# ギャップ GAP

## (農業生産工程管理)をご存じですか？

ID 1027598

本市では、豊富な水資源や長い日照時間など、恵まれた生産条件を生かしながら、米や梨、いちごやトマトなど、さまざまな農産物が生産されています。今回は、市内の農業者が生産の過程で力を注いでいる、消費者・生産者・環境にとって「Good」な取り組み、「GAP」について紹介します。

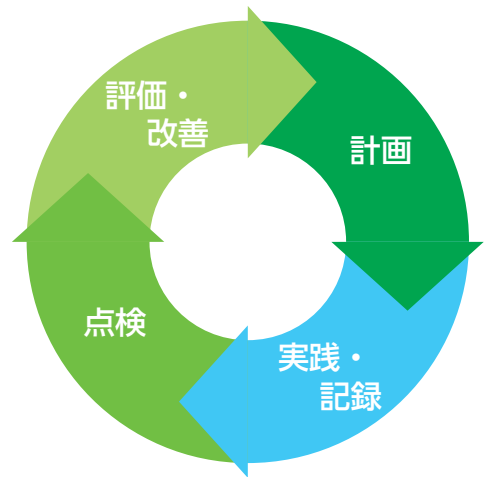
農林生産流通課 ☎ (632)2466

### ■GAPとは

「Good Agricultural Practice (農業生産工程管理)」の頭文字。食品安全・環境保全・労働安全などの観点から、農産物を作る際に適正な手順や物の管理を行うことで、危険性や問題点を考え、対策を行い、改善していく取り組みです。

市場に流通している農産物はもちろん安全ですが、生産者がGAPにに取り組むことで、より良い生産工程の実施につながります。

安全・安心な農産物の生産のため  
常にチェックしています



GAPの取り組み	食品安全	農薬・肥料の適正使用など
	環境保全	廃棄物の適正処理など
	労働安全	危険箇所・作業の一覧作成など
	人権保護	労働者への労働条件の提示など
	農場経営管理	作業内容の記録・保管など

### ■GAPの認証制度

GAPには、農業者の取り組みが正しく実施されているか、生産者が第三者の認証や確認を受ける制度があり、右の表のような種類があります。

GAPの認証は、農産物の安全・安心の一つの目安になります。

GAPの種類	特徴
グローバル GLOBAL GAP	欧州を中心とした、国際規格のGAP。
アジア ASIA GAP	アジア圏の国際規格のGAP。
JGAP	日本の標準的なGAP。
とちぎGAP	県独自のGAP。

### とちぎGAPの確認を受けている生産者の声



JAうつのみや梨専門部  
GAP研究会  
のりお  
会長 島田 典男さん

GAPの取り組みは、今まで当たり前に取り組んでいたことでしたが、第三者確認を受けたことで、「自分たちの取り組みは間違いじゃなかったんだ」と、自信につながりました。JAうつのみや梨専門部では、理解の輪が広がり、今では全体でGAPに取り組んでいます。市場からは「宇都宮の梨はレベルが高い」という声もいただき、日々のGAPの取り組みが、安全・安心で、品質の高い梨を生産することにつながっていると実感しています。今の時期から11月頃まで楽しめる梨もあるので、旬の時期にぜひお召し上がりください！

